

記載例

機器一覧表（塔・槽類）

フロー番号	機器の名称	主要寸法 (mm) D×L、D×H	内容積 (㎡)	設計圧力 (MPa)	設計温度 (℃)	肉厚※				材質		ガス種	耐震 設計 有無	保温 保冷 有無	耐火／ 準耐火 構造 有無	特定 設備 有無	備考
				常用圧力 (MPa)	常用温度 (℃)	計算肉厚 (mm) (腐れ代を含む。)		使用肉厚(mm) (腐れ代を含む。)		胴	鏡						
						胴	鏡	胴	鏡								
C40	液化窒素貯槽	D3030×H8150	30	1.20	−196〜40	6.96	7.20	6.32	6.80	SUS304	SUS304	液化窒素	有	有	無	有	
				0.93	−196〜40												

※原則として、肉厚の算出には、一般高圧ガスにあっては一般高圧ガス保安規則関係例示基準8を、液化石油ガスにあっては液化石油ガス保安規則関係例示基準16にそれぞれ準拠して算出すること。

機器一覧表（気化熱交換器・加熱炉）

記載例

フロー番号	機器の名称	区分 ※	主要寸法 (mm) D×L、D× H	内容積 (m)	設計圧力 (MPa) 常用圧力 (MPa)	設計温度 (℃) 常用温度 (℃)	肉厚※		材質	ガス種	耐震 設計 有無	保温 保冷 有無	特定 設備 有無	認定等	備考
							計算肉厚 (mm)) (腐れ代を含む。)	使用肉厚 (mm) (腐れ代を含む。)							
PBD 1	加圧蒸発器	F	1400×700	0.0025	2.00	-196～40	0.80	2.55	A6063S -T5	液化窒素	無	無	有	KHK受 検品	完成検査時 には番号照合
					0.93	-196～40									

※原則として、肉厚の算出には、一般高圧ガスにあっては一般高圧ガス保安規則関係例示基準8を、液化石油ガスにあっては液化石油ガス保安規則関係例示基準16にそれぞれ準拠して算出すること。

記載例

機器一覧表（気化熱交換器・加熱炉）

フロー番号	機器の名称	区分※	主要寸法 (mm) D×L、D×H	内容積 (m ³)	設計圧力 (MPa) 常用圧力 (MPa)	設計温度 (℃) 常用温度 (℃)	肉厚※		材質	ガス種	耐震 設計 有無	保温 保冷 有無	特定 設備 有無	認定等	備考
							計算肉厚 (mm)) (腐れ代を含む。)	使用肉厚 (mm) (腐れ代を含む。)							
PBD 1	加圧蒸発器	F	1400×700	0.0025	2.00	−196~40	0.80	2.55	A6063S-T5	液化窒素	無	無	有	KHK受検品	完成検査時には番号照合
					0.93	−196~40									

※区分欄には次の記号を記載すること。（S:シェル型／T: チューブ型／F: フィン型）
 ※原則として、肉厚の算出には、一般高圧ガスにあっては一般高圧ガス保安規則関係例示基準8を、液化石油ガスにあっては液化石油ガス保安規則関係例示基準16にそれぞれ準拠して算出すること。

機器一覧表（ポンプ・圧縮機）

フロー番号	機器の名称	形式	処理能力 (Nm ³ /日)	設計圧力 (MPa)	設計温度 (℃)	肉厚※	材質	ガス種	認定等	備考
				常用圧力 (MPa)	常用温度 (℃)	使用肉厚 (mm) (腐れ代を含む。)				
P1	充填ポンプ	往復動式	200	20.00	-10~40	8.50	SCS13	窒素	KHK認定品	完成検査時には 番号照合
				14.70	-10~40					

※原則として、肉厚の算出には、一般高圧ガスにあっては一般高圧ガス保安規則関係例示基準8を、液化石油ガスにあっては液化石油ガス保安規則関係例示基準16にそれぞれ準拠して算出すること。

記載例

※原則として、肉厚の算出には、一般高圧ガスにあっては一般高圧ガス保安規則関係例示基準 8 を、液化石油ガスにあっては液化石油ガス保安規則関係例示基準 16 にそれぞれ準拠して算出すること。

記載例

機器一覧表（重要弁（緊急遮断弁・調節弁等））

弁の種類 フロー番号	呼び径	設計圧力 (MPa) 常用圧力 (MPa)	設計温度 (℃) 常用温度 (℃)	肉厚※		材質	ガス種	認定等	備考
				計算肉厚 (mm)) (腐れ代を含む。)	使用肉厚 (mm)) (腐れ代を含む。)				
加圧調整弁 PR1	25A	2.50	−196〜40	別紙「認定成績書」のとおり			液化窒素	大臣認定品	完成検査時には番号照合
		0.93	−196〜40						

※原則として、肉厚の算出には、一般高圧ガスにあっては一般高圧ガス保安規則関係例示基準8を、液化石油ガスにあっては液化石油ガス保安規則関係例示基準16にそれぞれ準拠して算出すること。

機器一覽表（安全弁類）

[illegible]

※ 原則として、吹出量の算出には、一般高圧ガスにあっては一般高圧ガス保安規則関係例示基準13を、液化石油ガスにあっては液化石油ガス保安規則関係例示基準17にそれぞれ準拠して算出すること。

記載例

[illegible]

※原則として、肉厚の算出には、一般高圧ガスにあっては一般高圧ガス保安規則関係例示基準 8 を、液化石油ガスにあっては液化石油ガス保安規則関係例示基準 16 にそれぞれ準拠して算出すること。

記載例

機器一覧表（圧力計）						
圧力計番号	圧力計の種類	対象設備	常用の圧力 (MPa)	測定範囲 (MPa)	JIS等規格	備考
PG1	ブルドン管	貯槽	0.93	0～1.6	JISB7505(1994)	

記載例	機器一覧表（液面計）				
	液面計番号	液面計の種類	対象設備	測定範囲 (KPa)	備考
	<i>L11</i>	<i>差圧式液面計</i>	<i>貯槽</i>	<i>0～1.6</i>	

記載例

機器一覧表（温度計）						
温度計番号	温度計の種類	対象設備	常用の温度 （℃）	測定範囲 （℃）	JIS等規格	備考
温度計	一般用ガラス製温度計	反応器	200	0～400	JISB7411-1(2014)	